

女子大学生の運動習慣と中学校および高等学校での運動・スポーツにまつわる経験の関連

順天堂大学  
スポーツ健康科学研究科  
学籍番号：4118025  
氏名：田中 愛理

【目的】

女子大学生の現在の運動習慣と過去の保健体育の授業や部活動を中心とした運動・スポーツ経験の関連について検討することを目的とする。現在の運動・スポーツ実施に影響を与える要因について知見を得ることで女性の運動・スポーツ参画促進の一助となると考えられる。

【方法】

日本国内の大学に通う男女大学生、合計 1297 名を対象とした。無記名・自己記入式質問紙を用いて、「現在の運動・スポーツ活動について」、「過去の運動・スポーツ活動について」、「中学校・高等学校の部活動、体育、保健の授業に関して」を調査し、分析を行った。本稿では、女性の一般大学生の結果を報告した。

【結果】

過去の体育の授業にまつわる経験に関して、運動習慣のある者が「先生の技術指導がうまかった」の項目において有意に高い得点を示した。

また、運動習慣のない者が「周囲の目や歓声が嫌だった」、「優劣や順位がつくことが嫌だった」の項目において有意に高い得点を示した。

保健の授業にまつわる経験に関して、運動習慣のある者が「健康や体力を気にしていた」の項目で有意に低い得点を示した。

【結論】

女子大学生の運動習慣に、中学校および高等学校での教員や指導者との関わりや体育や部活動での評価や順位づけによる嫌な経験が関連している可能性があることが明らかとなった。